

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

30年先、50年先も自主独立を貫く健全な企業であり続け、Made in Japanで勝負し、お客様のニーズに応じていく。

サンバイザー付インタ
約41%

PFSサービス施工販
約49%

② 中長期の経営戦略

1. 生産戦略

国内2工場での自社一貫生産体制を充実。需要に合わせてフレキシブルに生産量を変更し、ジャストインタイムによる改善活動でコスト削減を追求。

3. ブランド戦略

PFSサービス普及により顧客満足度向上。Moto GPレーサー契約やSHOEI Helmet Parkを活用し、SNS・インフルエンサーも含めた新しい広告宣伝を展開。

2. 商品戦略

高品質・高付加価値商品の研究開発を推進。エレクトロニクスとの融合、新素材採用、クラシックモデルなど多様なニーズに対応。キャリアケース事業など事業多角化を進める。

4. 市場戦略

欧米日市場のトップシェア維持。中国市場の販売体制強化と東南アジア拡販に注力。現地邦人駐在やPFS導入で販売店との協業を深化。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性対応

- ・世界経済の先行き不透明さ、米国関税引き上げへの対応
- ・流通在庫調整と需要減退への対応
- ・高級二輪ヘルメット市場の消費ムード失速への対応

② 生産体制の強化と効率化

- ・茨城工場隣接地に倉庫建設・製品集約を実行（2025年1月）
- ・築60年近い既存工場の老朽化対策と生産効率化
- ・従業員の精鋭化と多能工化の強化

③ 新規事業展開と事業多角化

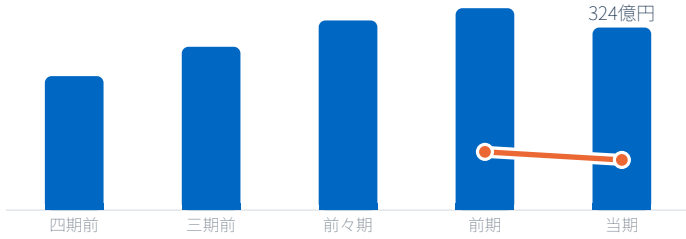
- ・2026年9月期のキャリアケース事業スタート
- ・2025年10月カーボン製ヘルメット上市
- ・ヘルメットスマート化需要への対応と開発強化

面接で使えるポイント

- ・Made in Japan にこだわる理由。過去60年で築いたブランドは造形・品質・生産のバランス維持でこそ成立する。
- ・2025年10月X-Fifteen Carbon上市、2026年9月キャリアケース事業開始など…
- ・PFSサービスが日本市場で約49%、サンバイザー付インターコム対応が約41%と…

証券コード 7839

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
324億円営業利益率
27.5%財務健康度
94点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 45.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
551万円

その他製品内 61位/105社

平均年齢
36.9歳

その他製品内 100位/105社

平均勤続
12.8年

その他製品内 66位/105社

女性管理職
3.1%

その他製品内 69位/83社

男性育休
73.3%

その他製品内 43位/63社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株) S H O E I 【7839】：決算情報

